

第11回(通算144回)研究会のご案内

今回は、年間研究テーマ「イノベーションと地域創生」のもと、「中国の科学技術」を企画しました。皆様方多数のご参加を期待します。

趣旨：中国では企業価値が1,060億円以上で、設立10年以内の企業をユニコーン企業と呼び、164社を数える（中国科技部「2017年中国ユニコーン企業発展報告」）。中でも企業価値が約1兆6千億円を越える“スーパーユニコーン”10社（2017年）の内、中国版Uberで知られている“滴滴打車（ディーディーダーチャ）”などの5社が北京に本社を構えている。北京には清華大学、北京大学など理系に強い大学のほか、ベンチャーキャピタルや政府機関が集中しており、資金調達でも極めて有利である。ここでは、ユニコーン企業の発展と中国のベンチャーキャピタルとの具体的な関わりについて知見を深めたい。

また、第4次産業革命の基盤である情報技術の発展は、製品の開発管理にも大きな変化を与えている。製品の研究開発部門は、商品企画からの情報を受け、設計品質の向上を図りながら実験を行い、製造部門に適切な情報を伝達しなければならない。より効果的・効率的な設計開発を目指すには、開発管理部門に情報武装への変身が求められる。ここでは、HUAWEIの統合製品開発管理の実際を学んでみよう。

講演会プログラム：

14:10～15:10「中国のベンチャーキャピタルとユニコーン企業」

阪南大学大学院 教授 洪 詩鴻 氏

15:20～16:20「HUAWEIのIPO（統合製品開発管理）とわが社の導入実績」

中山康和化学工業 社長 陳 志国 氏

16:20～17:00 総合討論

17:00～18:00 交流会 会場 2F/207号室

開催日：2019年6月21日（金）14:00～18:00

会場：阪南大学あべのハルカスキャンパス 23F/セミナールーム

参加費：1,000円、交流会費2,000円（アサヒビアケラー） 当日、会場にて頂きます。

参加申込：当WebサイトもしくはE-mailでお申込み下さい。（締め切り）6月14日（金）

（申込先）：研究・イノベーション学会関西支部

副支部長（事務局の長）西原一嘉、E-mail:nisihara@osakac.ac.jp